



# 花園だより

心豊かに たくましく 自ら学び 自ら律する 花園の子

令和5年3月1日  
京都市立花園小学校  
校長 後藤 靖



E-mail:hanazono-s@edu.city.kyoto.jp TEL:841-6900 FAX:841-6904

## ■令和4年度 後期学校評価の結果について

立春の候、皆様におかれましてはますます健勝のこととお慶び申し上げます。平素から本校教育活動にご理解・ご協力いただき、誠にありがとうございます。

12月に実施致しました「学校評価アンケート（後期）」のご協力、ありがとうございました。本校では毎年、学校と家庭が双方向の関係性を構築し、それぞれの立場から子どもの豊かな学びと育ちを実現するために、年に2回、保護者の方々へのアンケートにご協力いただいています。

本お便りでは、前回実施から半年経った子どもたちの様子について、児童・保護者・教師それぞれの立場から子どもたちの様子を見取り、ご回答いただいた結果を基にその変容等について考察します。

成果と課題を検討し、それらを踏まえたうえで来年度の教育活動への改善等へつなげていきたいと考えております。今後ともご理解・ご協力のほど、どうぞよろしくお願ひいたします。

## ■アンケート集計結果（数字は%、質問文は児童用のアンケートのもの）

### 「確かな学力」

確かな学力												
児童	保護者	教師	児童	保護者	教師	児童	保護者	教師	児童	保護者	教師	
そうおもう			だいたいそうおもう			あまりそうおもわない			そうおもわない			
学校や家庭で、楽しく学習している。	45	25	11	40	54	89	12	19	0	3	2	0
授業がよくわかる。	48	24	22	39	59	67	9	15	11	4	2	0
授業中、先生や友達の話を最後までしっかり聞いている。	50	22	22	42	60	67	7	17	11	2	2	0
めあてや目標をもって学習に取り組んでいる。	39	17	33	42	48	56	16	31	11	3	4	0
授業中、自分から進んで発表している。	41	19	11	22	45	78	23	34	11	14	2	0
家庭学習や宿題を自分から進んでしている。	42	22	0	37	39	78	14	33	22	7	6	0
本をよく読んでいる。	46	20	13	22	27	75	19	37	13	13	16	0
忘れ物なく自分で学習の準備がされている。	55	33	0	28	39	78	13	22	22	4	6	0

この項目は、本校教育活動における主に基礎的・基本的な知識・技能の習得および、探究活動を通して主体的・対話的で深い学びの実現に関わる内容となります。

解答項目の内、課題的な内容を中心に以下の4項目を抽出し、考察します。

児童	保護者	教師	児童	保護者	教師	児童	保護者	教師	児童	保護者	教師	
そうおもう			だいたいそうおもう			あまりそうおもわない			そうおもわない			
授業中、先生や友達の話を最後までしっかり聞いている。	50	22	22	42	60	67	7	17	11	2	2	0
めあてや目標をもって学習に取り組んでいる。	39	17	33	42	48	56	16	31	11	3	4	0
授業中、自分から進んで発表している。	41	19	11	22	45	78	23	34	11	14	2	0
本をよく読んでいる。	46	20	13	22	27	75	19	37	13	13	16	0

### ■「授業中、先生や友達の話を最後までしっかり聞いている。」

「そう思う」「大体そう思う」を合計した肯定的な回答の割合が、児童に関しては9割以上、保護者教師共に8割以上の回答となりました。

考え方を文章や言葉でアウトプットしていくには、まずインプットとして人の考えを知る事、多様な知識などを得ることが必要となります。他人とより良く関わり合う関係性を築く点においても、まず人の話をしっかりと聞くことができるということは重要視していきたいと考えています。

### ■「めあてや目標をもって学習に取り組んでいる。」

否定的な回答の割合が、児童に関しては2割程度、保護者は3割以上という結果になりました。2割程度というと、約40名程度の児童になります。

目標については短期的な目標や長期的な目標など、それぞれの学習や児童の状況に応じて様々な形が想定されます。いずれにせよ学習活動においては目標の設定というのは大きな効果を持ちます。

長期的な目標、例えば「将来〇〇になりたい」「1年かけて算数の成績をあげたい」といった場合、目標をもつことでまず意識が変わります。次に「その為には何をするべきか」といった具体的な目標も自発的に生まれます。ここにはただ勉強を「させられている」という意識よりも、より主体的な意識が備わってくるものと考えます。また、毎日毎時間の目標、つまりは学習の「めあて」の設定もあります。こちらは授業者が毎時間子どもたちと授業の初めに共通理解しながら進めるものです。今回の結果を受け、改めて子ども、教員共に目標をしっかりと意識した学習の取組を進めて参りたいと思います。

### ■「授業中、自分から進んで発表している。」

「あまりそう思わない」「そう思わない」を合計した否定的な回答の割合が、児童に関しては4割近く、保護者教師共に3割以上という結果になりました。

前回に比べほぼ横ばいの結果となっております。前項の主体性にも関わる部分ですが、発表に消極的な理由として、積極性以外にも解答に自信がない、また人間関係など様々な要因が考えられます。担任がよりきめ細やかな指導を心掛け、子どもの実態含め把握していきたいと思います。

### ■「本をよく読んでいる。」

否定的な回答の割合が、児童に関しては3割以上、保護者は5割以上という結果になりました。児童は前回より5ポイントほど上昇しているものの、依然否定的な回答が多い傾向が見られます。

前回のアンケート以降、読書週間などを通して図書委員会の活動や図書ボランティアさんにもご協力を仰ぎながら、新しい企画も行っておりますので、引き続き子どもたちが素敵な本に出会えるよう、来年度に向けて取組を進めて参りたいと思います。

## 「豊かな心」

	豊かな心											
	児童	保護者	教師	児童	保護者	教師	児童	保護者	教師	児童	保護者	教師
	そうおもう			だいたいそうおもう			あまりそうおもわない			そうおもわない		
自分から進んであいさつができるている。	55	27	11	33	44	78	10	26	11	3	3	0
こまつたことがあれば、周りの人に相談している。	44	22	11	30	65	78	18	13	11	8	1	0
家で学校であったできごとをお家の人に話している。	54	28	11	28	63	67	13	8	22	5	1	0
自分には良いところがあると思う。	43	18	33	30	59	56	17	21	11	9	2	0
難しいと思うことにも失敗をおそれず挑戦している。	45	19	22	36	49	67	15	30	11	5	3	0
学級や学年の仲間と学校で仲良く過ごしている。	68	47	11	25	47	78	5	6	11	2	1	0
係や掃除・給食当番の仕事をもって取り組んでいる。	65	15	22	30	51	67	3	32	11	2	2	0
学校の物や勉強道具を大切にしている。	60	15	22	31	46	67	5	32	11	4	6	0

この項目は、本校教育活動における、主に道徳教育の充実、規範意識の育成、支え合い、高め合う集団づくりの推進と絆づくりに関わる内容となります。

解答項目の内、課題的な内容を中心に以下の3項目を抽出し、考察します。

	児童	保護者	教師	児童	保護者	教師	児童	保護者	教師	児童	保護者	教師
	そうおもう			だいたいそうおもう			あまりそうおもわない			そうおもわない		
	学級や学年の仲間と学校で仲良く過ごしている。											
係や掃除・給食当番の仕事に責任をもって取り組んでいる。	68	47	11	25	47	78	5	6	11	2	1	0
学校の物や勉強道具を大切にしている。	65	15	22	30	51	67	3	32	11	2	2	0
	60	15	22	31	46	67	5	32	11	4	6	0

■ 「学級や学年の仲間と学校で仲良く過ごしている

児童・保護者共に肯定が9割を超える結果となりました。子ども自身がそう感じていることは学校生活を送る上でとても良いことだと思います。同時に2%の児童が「そうおもわない」を選択していることに注視すべきであり、子どもたちの様子や日々の変化をしっかりと見取っていきたいと思います。

■ 「係や掃除・給食当番の什事に責任をもって取り組んでいる

児童が9割近い肯定的な回答をしているのに対し、保護者が6～7割程度でした。保護者向けのアンケート項目では、「家庭内でしっかりとお手伝いや役割分担をしている」だった為、学校での様子とご家庭での様子という違いが反映されているものと思われます。低学年では家庭内のお手伝いは難しいところもありますが、簡単なことからチャレンジしてみるのも良いかもしれません。何かお手伝

いができたら、忘れずそれを認めてあげること、しっかりとほめてあげることが大切です。

## ■ 「学校の物や勉強道具を大切にしている」

児童が9割近い肯定的な回答をしているのに対し、保護者が6～7割程度でした。花園校では今年度特に落し物が多く出ています。種類は様々で、上着からズボン、体操服、タオル、帽子、文房具などなど…。またほとんど落とし主は見つかっていません。子どもは物を大切にしている意識はあるようですが、全体で見ると気になる状況です。ご家庭でも子どもの持ち物や筆箱の中身など、時々子どもたちと一緒にチェックしていただければと思います。

## 「健やかな体」「地域」

	健やかな体											
	児童	保護者	教師	児童	保護者	教師	児童	保護者	教師	児童	保護者	教師
	そうおもう			だいたいそうおもう			あまりそうおもわない			そうおもわない		
学校や放課後、安全に気を付けて行動している。	67	31	67	28	56	33	4	12	0	1	1	0
学校や家の決まりを守っている。	48	20	56	45	63	44	5	15	0	3	3	0
自分や友だちの心や体を大切にしている。	68	43	67	27	50	33	4	6	0	1	1	0

## 地域

花園小学校の地域のことが好きだ。	児童	保護者	教師	児童	保護者	教師	児童	保護者	教師	児童	保護者	教師
	そうおもう			だいたいそうおもう			あまりそうおもわない			そうおもわない		

この項目は、保健教育・安全教育の充実、および地域への親しみや愛情に関わる内容となります。解答項目の内、**課題的な内容**を中心<sup>1</sup>に以下の項目を抽出し、考察します。

	児童	保護者	教師	児童	保護者	教師	児童	保護者	教師	児童	保護者	教師
	そうおもう			だいたいそうおもう			あまりそうおもわない			そうおもわない		
学校や家の決まりを守っている。	48	20	56	45	63	44	5	15	0	3	3	0

■ 「学校や家での決まりを守っている」

児童・保護者・教師共に肯定的回答が9割を超える結果になりました。人と関わりながら集団生活を送っていく中で、規範意識は基本的なものであると同時にとても重要なものです。特に高学年の子どもには低学年のお手本になっている自覚をもつて過ごしていってもらいたいと思います。

以上、後期学校評価について、考察した結果を次年度に引継ぎ、学校評価委員会・地域共通理解のもと、教育活動に活用していきたいと思います。前期・後期のアンケートへのご協力ありがとうございました。

